

# めざそく 男女 がともに 歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。

問 市男女共同参画推進室 ☎ 43・8116



▲気づいたときが分かち合うチャンスです

## 「名もなき家事」 気づくことから始めましょう

家事には、掃除や洗濯、料理などがありますが、それの大枠には当てはまらない小さな家事もあります。例えば、日用品の詰め替え、献立を考えること、郵便物のチェックや整理など、挙げればきりがないほど、呼び名がはっきりしていない「名もなき家事」があり、それぞれが生活を支えています。

料理担当や洗濯担当などの役割を決めていても「名もなき家事」は、気づいた人がその都度行うことが多く、細かく分担している家庭は少ないのでしょうか。小さなことでも、積み重なると負担は大きくなります。見えにくいかっこ、誰かに偏りやすくなってしまうのです。負担の偏りを緩和するには、まず、どのような「名もなき家事」があるのかを知ることが大切です。家族で家事をリストアップし、誰かに偏っていないか確認して話し合ってみましょう。自分では家事をしているつもりでも、意外と気づいていない「名もなき家事」があるかもしれません。そして、できることは積極的に自分で行い、誰かがしてくれたときには感謝の気持ちを伝えることも大切です。意識してみると「名もなき家事」をしてくれている人の細やかな心配りに気づくことができるはずです。

家族の中で誰かに負担が偏らないように、また、お互いに気持ちよく生活できるように、日常生活を支える「名もなき家事」を見直してみませんか。

## 福津防災

備えあれば  
憂いなし!

もし突然の集中豪雨や大地震に襲われたら…あなたや家族は大丈夫ですか。発生時間が夜中や通勤中だった場合はどう行動しますか。被害を減らすためには、災害を正しく理解し、備えることが大切です。

### 冬の地震火災を防ぐために

冬は暖房器具の使用が増え、地震による火災の危険も高まります。万が一に備え、次のポイントを確認しましょう。

**事前の備えが命を守る**

暖房器具の周りは整理し、燃えやすい物は置かないようにならう。消火器や火災報知器を設置し、使い方も確認しておくと安心です。

**地震直後の冷静な対応**

停電時はブレーカーを落とし、電気器具のスイッチを切りましょう。石油ストーブなどの油漏れも確認してください。

**揺れがおさまった後の注意**

機器の破損や周囲の可燃物を確認してから使用を再開しましょう。通電後は、煙や臭いなどの異常がないか注意してください。

問い合わせ 市防災安全課 ☎ 43・8107

## 相談事例

## 迷つたら一人で悩まず相談を!

## 消費生活相談

このコーナーでは悪質商法など実際に起きている、消費生活の問題事例を紹介しています。迷つたり、困つたりしたら、一人で悩まず、相談してください。

### 相談事例 勧誘に乗っても大丈夫?

業者が訪ねてきて「自宅を売りませんか」と勧誘を受けました。退職して収入も減り、住宅ローンも残っているので、契約をするかどうか悩んでいます。

### アドバイス 即答は避けて契約は慎重に!

自宅を売却して現金を得た上で、売却後に賃貸借契約を結び、毎月の家賃を支払うことで同じ家に住むことができるサービスを「リースバック」といいます。

契約前に、本当に住み続けることができる契約か、住み続ける上で家賃を無理なく支払うことができるかなど、契約内容をよく確認しましょう。提示された売却価格が相場とかけ離れていないかなど複数の業者に確認することも大切です。また、しつこく売却をあおる勧誘を受けても、必要でなければきっぱりと断りましょう。

問い合わせ 市消費生活相談窓口 ☎ 43・8106 (毎週月曜・水曜・金曜の午前9時~午後4時)  
※県消費生活センター ☎ 092・632・0999 でも、随時相談を受け付けています



日=日時、日程 場=場所 対=対象 定=定員 ¥=費用 講=講師 託=託児 問=受付、問い合わせ

## 乳幼児の子育て わわわ 話 和 輪

笑って「話」して「和」んで  
子育ての「輪」を広げませ  
んか。ぜひご利用ください。

### ①おもちゃ病院

大切な思い出の話を、修理してほしいおもちゃはあ  
りませんか。ドクターが診察して修理します。

日 1月16日(金)午後1時~午後3時

場 市子育て支援センター「なかよし」

¥ 1つにつき100円 ※部品代が別途必要



▲絵本の魅力に引き込まれる参加者たち

### 育児講座「絵本が育てくれるもの」を開催

「おはなし会昔っ子」の梅田恵子さんを講師に招き、9月25日に育児講座を行いました。「人は誰かに思いを伝えたり、共有したいという気持ちを持っています。話すことや人の話を聞くことで、自分がどんな存在なのかを見つめ直し、少しずつ自分らしさを育てていきます」などの話がありました。

子どもにとって絵本は耳から言葉を聴き、目で絵を読む物で、映像と違って絵は動かないため、想像力が育っていくとのことでした。絵本の奥深さを学びました。



発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集。掲載を希望する人はプリントした写真を市子育て支援センター「なかよし」に持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限ります。データの持ち込みは受け付けられません。

毎号先着12人で、3月生まれの赤ちゃんは1月19日(月)が受付期限です。

受付、問い合わせ 市子育て支援センター「なかよし」(ふくとぴあ)

☎ 35・8382

休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日



写真申込フォーム▲



福=福間 南=福間南 津=津屋崎 上=上西郷 勝=勝浦 宮=宮司 神=神興 東=神興東 ※郷づくり地域